

京大植物園の伐採めぐり署名提出 「考える会」

京都大理学部附属植物園（京都市左京区）の樹木の伐採をめぐり、教職員や市民でつくる「京大植物園を考える会」は13日、大学側に配慮を求める1187人分の署名を提出した。

署名人を代表して、石田紀郎・元京大教授が鴨嶋武忠・理学部等事務長に手渡した。署名は理学研究科長あてで、「公共の財産である植物園の扱いに強い危ぐと期待を持っている」として、今後の伐採方針などに大学側の配慮を求めた。

同園には約五百種の植物が植えられているが、昨秋以降、その一部が伐採されたことなどをめぐって教職員や学生、周辺住民の間にさまざまな意見が出ている。同会は植物観察会などを通じて、広く市民の意見を聞きたいとしている。

[ニュース目次](#) | [ジャンル別](#) | [バックナンバー](#) | [お悔やみ\(京都・滋賀関係分\)](#) | [ホーム](#)

5/14 '03

京	都	左	京	区
京大植物園の伐採めぐり署名提出「考える会」				
署名人を代表して、石田紀郎・元京大教授が鴨嶋武忠・理学部等事務長に手渡した。署名は理学研究科長あてで、「公共の財産である植物園の扱いに強い危ぐと期待を持っている」として、今後の伐採方針などに大学側の配慮を求めた。同園には約五百種の植物が植えられているが、昨秋以降、その一部が伐採されたことなどをめぐって教職員や学生、周辺住民の間にさまざまな意見が出ている。同会は植物観察会などを通じて、広く市民の意見を聞きたいとしている。				